



佐賀市立金立小学校 学校便り 第11号

きんりゅう

学校教育目標 「志高く 心豊かに 学ぶ 金立」



令和5年6月11日発行 文責 校長 副島 和久

佐賀市一斉フリー参観デー



ご参観いただき、ありがとうございました！



学校 HP もご覧ください

6月も3分の1が過ぎました。本日は佐賀市一斉フリー参観デーということで、保護者、地域の皆さんを始め、多くの方に金立小学校のがんばっている子どもたちの姿や先生方の姿を見ていただくことができ、大変、嬉しく思っています。学校運営協議会委員の皆様にもご参観いただき、アンケートにて励ましの言葉やご助言をいただきました。本当にありがとうございました。

引き続き、金立小学校の学校教育目標「志高く 心豊かに 学ぶ金立」の実現と目指す児童の姿「かしこい子」「やさしい子」「たかましい子」「ふるさとを愛する子」の育成に向けて、精一杯取り組んでいきますので、ご理解・ご協力の程、よろしくお願いいたします。

新規採用の 牛島 風香 先生、がんばっています！



令和5年度の新規採用職員として、2年2組学級担任の牛島風香(うしじま ふうか)先生が金立小学校に配属されています。いつも明るく前向きで、子どもたちとしっかり向き合いながら、あふれる教育愛をもって、日々教育活動に取り組んでいます。

6月8日(木)には、今年度初めての研究授業にも取り組みました。音楽の授業で、題材「ドレミとなかよしになろう」の中で、「ぱっかりくじら」という教材を、グループごとに歌と鍵盤ハーモニカで歌い方や演奏の仕方を工夫するという授業でした。

牛島先生持ち前の明るさと、初めての研究授業とは思えない落ち着きと、何より2年2組の子どもたちの元気で一生懸命な姿が印象的でした。授業では、「ぱっかりくじら」という曲を歌ったり、鍵盤ハーモニカで演奏したりしてみても子どもたちの気付きや感じ取りを生かしながら、音楽の特徴を捉え、子どもたちの「自分たちで歌い方や演奏の仕方を工夫したい」という気持ちをうまく引き出していました。2年2組の子どもたちもグループごとに協力して、楽しく取り組んでいました。歌と鍵盤ハーモニカに分かれるときに、他の友達の希望を聞きながら、譲り合う姿なども見られて、子どもたちのやさしさも伝わってきました。

この日は、指導担当の熊本 輝美 先生、真島教頭先生、1年担任の藤松先生、音楽主任の岡先生、教育実習生の古野先生なども参観していただきました。放課後には、参観していただいた先生方が集まって、授業についての振り返りも行いました。牛島先生は、この後も年間を通して、残り4回の研究授業に取り組みます。これからのさらなる成長が楽しい逸材です。

指導担当の熊本先生も、引き続きご指導よろしくお願いいたします。



江口 歩 先生がお休みに入られました！

(お知らせがちょっと遅くなりましたが、) 江口 歩(えぐち あゆみ)先生が6月2日から産前休暇に入られました。7月 27 日が予定日とのことで、その後、産後休暇、育児休業を取得され、しばらくお休みになられます。4月、5月はみのり学級の子どもたちはもちろんですが、他の学級の子どもたちにも幅広く関わっていただき、他の先生が出張やお休みの際には、いろいろな学級でたくさんの子どもたちをご指導いただきました。

母子ともに健康であり、元気な赤ちゃんが産まれてくることを心からお祈りしています。そして、しばらくは母親として、ご家庭と子育てのことを第一に考えてお過ごしいただければと思います。



6月1日の全校朝会で、子どもたちにも紹介しました。その後、手紙や絵をかくて持ってくる子どもたちやしばしのお別れを言いに来る子どもたちがいて、とても微笑ましかったです。

放課後には、職員でのお別れの式を行い、昨年度1年間、共に5年生担任で大変お世話になった安田先生が、職員を代表して花束贈呈を行いました。昨年度まで本校の教頭で、4月から北山東部小学校の校長となりました 内川美喜 先生も駆けつけていただき、安産祈願をしていただきました。



6.1 全校朝会の校長の話 「命」と「いじめ」についての話

6月1日(木)の全校朝会では、「命」と「いじめ」の話ということで、はじめに、江口先生のおなかの中にいる新しい命の話をして、命の大切さを伝えました。それから、(絶対にあってはならないことだけど)大切な命を自ら絶ってしまうことがあることやその原因の一つに「いじめ」があるということをお話しました。

以下は、その中で金立小学校の子どもたちにお話をしたことです。ぜひ、ご家庭でも「命の大切さ」、「けっしていじめを許さない心」について、子どもさんとお話していただければと思います。

された人が「嫌な気持ち」になることは「いじめ」です。

自分がされて嫌なことはおそらく、相手にとっても嫌なことだと思います。但し、「気持ち」は人によっても違います。自分では平気だと思うことでも、相手ににとっては「いやだなあ」と思うこともあると思います。だから、いつも、何をするときも、自分のことだけでなく、まわりのことや相手の人の気持ちを考えて行動してほしいと思います。

もし、あなたが嫌な気持ちになるようなことがあれば、「やめて」「しないで」「今、嫌な気持ちになったよ」と相手にしっかり伝えてあげてください。仲のよい友達であれば、なおさらです。それでも、やめてくれなかったら、すぐに先生やお家の人など、周りの大人に教えてください。

いじめをする人は、すぐに「ふざけていた」「冗談のつもりだった」みたいな言い訳をします。でも、そんな言い訳は通用しません。いじめはいじめです。私は金立小学校の校長として、絶対に「いじめ」は許しません。

もし、昨日までに自分がしたことが、「いじめ」だったなあ・と思ったことがある人は、この後、どうすればよいかをよく考えて、行動に移してください。もし、まだ謝っていないことがある人はすぐに先生に話したり、相手に謝ったりしてください。

「自分はそんなことには関係ない」と思っている人にお話します。「自分はいじめなんてしないし、いじめられてもいい」と思っている人へのお話です。「見て見ぬふりをする人」「知らないふりをする人」「自分は関係ないという態度をとる人」まわりにそのような人がいることで、「いじめ」は広がります。止まらなくなります。

私は、「知らないふりをする人」もいじめをしている人と同じではないかと思っています。

ぜひ、自分の学級、自分の友達、自分のまわりの人にもっと関心をもって、みんなで金立小学校のことをよくしてほしいなあと思っています。

6月9日(金)にいじめに係るアンケートを配付していますので、ご協力をお願いします。

6月16日(金)までに子どもさんを通じて学級担任にご提出ください。

